

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	I	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区(AAAシティおかやま)(岡山市)	4	3.8 進捗度 ・介護保険給付費の抑制 80% ・最先端介護機器等の活用による産業振興 109% ・在宅高齢者の増加とQOLの向上 96% ・生涯現役社会づくりの推進 40%	3.7 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域介護機器貸与モデル事業 ・訪問介護・訪問介護事業者に対する駐車許可簡素化事業等 財政支援等 ・老人保健健康増進等事業 地域独自の取組 ・訪問診療支援研修会等	4.2	・アウトカムの継続的な評価や事業者に対するインセンティブ付与など興味深い取り組みを着実にやっている点は評価できる。 ・複数の個別事業に着手し、それぞれが一定の成果をあげている。 ・指標が明確で評価しやすい。多様な取り組みで自治体として総合的に目標に向かい、さまざまな措置・活動を行っている点を評価したい。 ・事業の普及しない課題の分析を踏まえ、周知等に積極的な取り組みの成果が、インセンティブ事業の参加事業所数に現れたことを評価したい。ただし、目標が達成されていない点の課題は残っている。コロナ禍の事業が大きく影響していることから、やむを得ない達成度といえる。 ・インセンティブ参加事業者と不参加事業者でのサービス給付内容の違いなどがわかれば、参加型のインセンティブ事業の効果の検証や介護給付費の適正化にも役立つものと思われる。 ・介護保険給付費の抑制(評価指標(1))に関しては、介護の質を維持または改善しつつ給付費を抑制することが望まれる。その意味で、数値目標(1)―3(リハビリ専門職による訪問介護の改善に取り組む事業所数)は20%の寄与度でも重要であり、その達成を期待したい。 ・介護機器貸与モデル事業において、貸与機器数(5機器)は適当であったか、拡大の必要はないかなどを検討されたい。